

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	歴史・暮らしの記録保存事業
事業主体 (連絡先)	栄 村
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	846,000円 (うち支援金: 676,000円)

事業内容

長野県北部地震以降、古文書の目録作成を行っている廣瀬家文書について地域史料保全有志の会への委託により目録作成を進め、講座の開催や活動報告による広報活動を通じて地域ボランティアの参入を進める。

- ・ 廣瀬家文書目録の作成 1部
- ・ 古文書読み解き講座の開催 1回 11月4日(月)
- ・ 報告書の作成及び配布 150部



【古文書講座の開催】

【目標・ねらい】

- ① 地域ボランティアの創出・育成
- ② 村民への地域の魅力発信

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

村内からのボランティア参加者は延べ23名となり、栄中学校生徒も参加するなど、活発な活動を実施することができた。3月に開催された栄村の文化と自然報告会では会場で約40名、オンラインで20名の計60名となり、地域の歴史や文化に対する住民の関心を高めるきっかけとすることができた。

※自己評価【 B 】

【理由】

新たな取り組みにより住民が村の歴史や文化に関心を持つようきっかけとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。(今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など)。

今後は地域住民が能動的に活動に関与していく機会を設けるとともに、長期的な視点から地域史料保全有志の会の活動に参加するボランティアに対して、村の魅力となる歴史文化を通じて会員の拡充のための取り組みにつなげていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第 1 2 号) (第 3 の 8 関係)